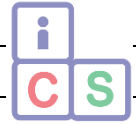


2024年度 第1回 板橋区立若木小学校 CS委員会だより



日時	2024年5月18日(土) 11時00分～13時00分
場所	板橋区立若木小学校 多目的室→体育館
出席者	10名(【地域委員】8名、【行政委員】2名)
欠席者	2名
傍聴人	【教育長職務代理】1名、【若木小学校教職員】1名(第1部)、24名(第2部)

議事内容

I 第1部(11:00～11:35迄)

1 校長が委員を委嘱し、CS委員らが委員長を互選で選出した。
また、委員長が副委員長を指名した。またさらに、委員長が、オブザーバーの臨席について承認した。

2 委員長が挨拶した。

委員長が各委員に対して、平素からの学校に対する協力に謝意を表した。
また、前校長により防災対策の充実も鑑み、町会防災リーダーから新たな委員が委嘱されており、これまで以上にコミュニティ・スクールの強化が図られることを期待したいことを述べた。

またさらに、今年度新たなPTA会長を迎えた。多忙な中、前会長には学校と保護者を取りまとめていただいたが、新会長についても引き続き学校運営の円滑化に尽力いただきたい旨、委員長より依頼した。なお、昨日保護者向けに配信された「PTA活動・イベントお手伝い募集」について触れ、「少しずつのお力を貸していただき、支え合いながら進めて行くこと」に賛同するとともに、PTA本部以外の委員が不在であることによる若木小の課題について、同様の認識であることを伝えた。各種行事だけでなく、平素の登下校等も含めた学校安全、さらには適切な学習環境の構築には、多くの保護者がまずは関与することが大切であることを語った。

このほか、昨年度末、PTA会長からコミュニティ・スクール委員会等と連名で、通学路の安全にかかわる要請を区長宛に行った。この件について、本日前会長に確認したところ対応中との連絡が前年度に担当部署からあったものの、進展の見られない部分があることが明らかとなった。例えば下図のように一部対応箇所があるものの、未対応箇所も依然として残っている。よって、引き続き注視していきたいことが語られた。



バリケードに代わる
注意喚起シート有
※若木小前遊戯道路



注意喚起シート未設置カ所
注意喚起シート無
※入亀前



注意喚起シート未設置カ所
注意喚起シート無
※華見坂

なお、学校安全にかかわる問題として、数年間放置されていた災害用の取水口が板でふさがれ応急処置されていた問題は、昨年度、コミュニティ・スクール委員会より教育委員会の担当課に修繕依頼し解決している。しかし、この入口を毎日、いたずらする事案が発生していたことから、校長に対応依頼したところすぐに具体的な対応が図られ、本課題は解消したことが紹介された。



このほか、委員長よりルールメイキングの課題について指摘し、児童会で検討するに値するルール例を提示した。前校長から依頼を受け、既存のルールについて見直しを行った。この時の既存のルールはいわゆる禁止規定が多く、さらには細かすぎることも、実態にそぐわない文言であることなどが

ら、CS委員会として修正案を示し、最終的な形が作成された。しかしながら、その後も児童会等で見直しを図ることを鑑み、細かなルールを見直すことは教育上有意義ではないことから、大括りなルールを策定し、見直していくような形にするのが良いのではないかと他校の例を示した。

〇〇小のきまり(例示)

みんなで協力しよう

- ① 先のことを考え、助け合おう
- ② 学年関係なく、困っている人や行事などで、力を合わせよう
- ③ やると決めたことは最後までやる
- ④ できないことも協力してチャレンジよう
- ⑤ 他学年が困っていたら積極的に協力しよう

元気に遊ぼう

- ① 他学年に進んで遊ぶのを誘う
- ② 一人で遊んでいる人と遊ぼう
- ③ 晴れている日は外で沢山遊ぶ

etc.

今後は、教職員でこの例示を参考に検討することを要請した。また、GIGA 端末の活用については引き続き課題が残るが、ネクスト GIGA の話もある中で、有効活用が必要である。ここで GIGA 端末の活用の醍醐味はドリル学習ではないものの、まずは採点を誰がやるかなどの問題も同時に解消できる具体例を示した。

<https://www.kobun.co.jp/drill-planet/>

最後に、本日の公開日だけでなく昨年度に比して、各委員や地域からは学校全体が落ち着いていることから期待感がもてると語られた。他委員が地域の方と話をした中では、来校の楽しみが増えたとの声も聞かれたことから紹介した。

3 校長より

(1)令和6年度 学校経営方針について

- ・校長が自己紹介ならびに抱負を語った。
- ・資料に基づき学校経営方針(案)について触れた。校長は、各委員に改善案などあれば、伝えて欲しい旨、語られた。また、目標の実現に向けた段階について、具体的に示した。このほか GIGA 端末活用も含めた授業改善などについても実現に向けて種まき、水やりをしていることが語られた。よい授業をするために「先生方向をしますか」を問うていることを語った。そのためには、与えられた研修だけでなく教員が自ら学ぶことの大切さについても触れた。また、生徒指導上の問題点である「いじめ」については、発生率ではなく対応率 100%の大切さを語った。またさらに、この学校で大切なことは、当たり前のことを徹底して行っていくことであることを語った。

(2)その他の報告（開校記念日について）

校長が校内体制、事故報告、開校記念日、令和5年度会計報告について説明した。校長の事故報告について、CS委員長は発生直後に校長が前CS委員長に報告していたことを説明するとともに、同様の事故発生防止に努めるように依頼した。本件については、各委員から意見や質問を募った。

また、開校記念日変更については、学校が休業日になることにより保護者が子どもを遊びに連れていくことができるメリットが委員から出た。一方で、今年度のように月曜日の休みが多いなどの問題も鑑み、毎回月曜日が休みなのがよいのかや、保護者負担なども考え各曜日に休みが分散していくような仕組み、学校の誕生日をころころ変えることの妥当性などを問う意見もあった。今後、学校で本件は検討し、次年度以降の在り方について最終的にCS委員会にて承認を得ることとなった。

4 その他

歴代のPTAがこれまで実施してきたアルミ缶回収について、取組の解消を検討している件について確認した。オブザーバーからの情報提供によれば、アルミ缶回収は開始当初は区が集団回収を推進していた関係で別途補助金なども出ていたようである。しかし、現在の状況を確認したところ、回収の手間の割には、わずかな収入にしかならない。また、空き缶を潰して出す必要があるものの、実際はつぶされずに出されることから、PTA役員が別途潰す作業に追われている。既に、回収場所が各地域にあることなどを鑑み、PTAが本取組を解消することについて、CS委員会としても賛同すること

が確認された。なお、解消にあたっては周知が必要であることから、本 CS だより、学校だより、回収場所における掲示など周知した上で解消することが確認された。

委員より、学校の Web ページについて、給食以外の情報が掲載、発信されている点について評価の声があった。多くの学校で給食の発信がされているが、今後もこうした慣行にとらわれず、発信すべき情報を適切に発信していくよう CS 委員会として期待したい。

Ⅱ 第 2 部 (11:45 頃～12:15 迄)

1 参加者自己紹介

教職員ならびに CS 委員が対面にて自己紹介をした。また、CS 委員長からはこれまでの相談役としてだけでなく、「辛口の友人」としてできることを支援していきたい旨、語られた。各委員からは、それぞれの組織が担っている概要について教職員にレクを行った。

※第 1 部の後、第 2 部を改めて開催し、閉会した(12:20～13:00)。

2 謝辞 (副校長)

CS 委員会年間予定について

年間予定は以下のとおりである

第 1 回 令和 6 年 05 月 18 日 (土) 11:00～12:15

第 2 回 令和 6 年 07 月 10 日 (水) 第 1 部 14:20～15:10(代表委員会出席)
第 2 部 18:00～

第 3 回 令和 6 年 08 月 28 日 (水) エリア合同 場所 中台中学校 10:00 予定

第 4 回 令和 6 年 11 月 29 日(金) 18:00～

第 5 回 令和 7 年 01 月 18 日(土) 13:00～

配布資料	【学校側配布資料】		
	(1) 第 1 回若木小コミュニティ・スクール委員会次第 (2) 令和 6 年度 板橋区立若木小学校 学校経営方針(暫定版) (3) 令和 6 年度 板橋区立若木小学校 教員組織 4 月 8 日版 (4) 令和 5 年度 コミュニティ・スクール委員会運営経費 (5) 委員提供 きまり例 ※(1)～(2)は事前配布有		
作成者	CS委員長	確認者	校長